

ヒント集としての「情報 I 実践事例集」

富山県立桜井高等学校・情報 I 研究会

福田 匡孝

1. 「情報 I 教育研究会」とは

2022 年度に実施された学習指導要領改訂により、従前の情報科目よりも高度な内容を扱う「情報 I」が必修科目となり、来年度実施の大学入学共通テストから情報 I が導入され、国立大学の多くが必須科目として課されるようになった。このため、情報科教員の指導力向上が求められている。高教研情報部会では、県教育委員会や富山大学等と連携し 2022 年度に「情報 I 研究会」（以下 研究会）を立ち上げ、富山大学 林教授・成瀬教授をはじめとした先生方の助言の下、情報科教員への支援を行なっている。

昨年度は、参加教員のこれまでの実践を「情報 I 実践事例集」（以下 事例集）として編集し、県内各校へ配布を行った。今年度は、改訂版の発行を目指し、事例集を基とした授業の実施、および実践事例の改善等の活動を行なっている。

2. 個人情報を題材とした実践事例

研究会では、生徒が主体的に参加できる授業を作ることを共通理解とし、実践事例の検討を行ってきた。本実践事例では、筆者が立案し、研究会で検討を行ったものである。立案の際、SNS が「情報を消費する場」と「情報の発信する場」の 2 つを内包した情報メディアであるという認識の基で教科書の分析を行い、消費者としての指導が主体で発信者としての指導が少ないという意識から、情報の発信者からの視点での個人情報やプライバシーといった個人に関わる情報の保護と活用に関する授業について立案を行った。

本実践事例では、

- 個人情報やプライバシーの概念について理解する。
- SNS 上で個人情報等を共有することの影響を考える。
- 個人情報の保護と利用に関して多様な考えがあることを理解する。

を目標に、次のような形で授業を進める。

- ① 個人情報やプライバシーの定義、SNS での共有範囲の設定等について学習する。
- ② SNS 上で共有できる情報について、どの範囲まで共有（公開）したいか考える。
- ③ 共有したい範囲とその理由についてグループで考え、クラウド上にある表に入力する。
- ④ まとめをする

3. 授業実践

2023 年 4 月頃に、2022 年度に発刊された事例集を基に、筆者が勤務する高等学校にて授業を行った。導入時に、画像を 1 枚提示し、そこからどのような情報を読み取ることができ

るか発問をした後で、個人情報やプライバシーの定義等を説明した。その後で生徒に対し、自分が今の立場において、自分の名前・学校名と学年・自分の趣味・自分のフォロワーリスト・外出時に撮影した画像（自分が写っていないの画像）・自分と自分の友人が写っている画像、「いいね」や他の人の投稿の7つに対して、それぞれの共有範囲を共有しない・学校の友人・SNS上でかつ学校以外の友人・全世界の内1つを選ぶよう、指示した。各自で判断した後にグループでディスカッションしてもらい、本校内で共有できるクラウド上に表計算ソフトウェアで作成した表に入力してもらった。その結果を表1に示す。

名前や学校名等、直接自分に関する情報や友達に影響が及ぶ情報については共有範囲を学校の友人までにする傾向があるが、趣味や外出時の画像等、直接関わらない情報に関しては全世界まで拡げる傾向であった。一方で、フォロワーリストや他の人の投稿については、学校の友人までかそれ以上に拡げるかで判断が分かれた。フォロワーリストについては、自分を特定するための材料にされるや、友人を守りたいからという理由で、共有範囲を学校の友人までにしたグループが多い一方で、フォロワーリストだけでは特定されないのでは、という理由でそれ以上に拡げる判断をしたグループも多かった。また、他の人の投稿については、友人以外まで共有することに関して恥ずかしいからと、いう理由により学校の友人までにしたグループが多い一方で、共有した投稿だけでは特定されないからや、同じ趣味を持つ人同士で交流することができるから、という理由でそれ以上に拡げる判断をしたグループも多かった。

今回の実践では、高校生の立場でどの情報をどこまで公開するべきか考えさせることができたが、設問が多く、時間内に全て判断できなかつたグループが存在することが課題となった。これを受け、その改善案を本年度内に発刊する改訂版に掲載する予定である。

表1 ディスカッション後の判断（各グループ）

	共有しない	学校の友人	SNS 上かつ学校以外の友人	全世界	その他	合計
名前	0	26	0	1	3	30
学校名と学年	0	29	1	0	0	30
趣味	1	1	4	24	0	30
フォロワーリスト	1	11	10	4	3	29
外出時の画像	0	1	3	26	0	30
自分と自分の友人が写っている画像	1	24	2	0	2	29
「いいね」や他の人の投稿	3	7	3	10	1	24

数値はグループ単位。合計値が一致しないのは、時間切れで答えることができなかったグループが存在しているため。

03 個人情報の保護と利用

1

概要

個人情報の概念等、個人情報の保護と利用に関する基本的な知識を学習する。また、SNS上で個人情報やプライバシーを公開することによる影響を考察し、SNS時代におけるプライバシーの扱い方を考える。

目標

- 個人情報やプライバシーの概念について理解する。
- SNS上で個人情報等を共有することの影響を考える。
- 個人情報の保護と利用に関して多様な考えがあることを理解する。

授業展開内容

- ① 個人情報やプライバシーの定義、基本4情報や、デジタル・フットプリントなどについて学習する。

指導上のポイント

- ・個人情報とプライバシーの概念の違いを分かりやすく説明するために、プロフィールや投稿等、SNSに登録される情報を例にしながら説明するとよい。
- ・自分自身に対するデジタル・フットプリントの影響を考える機会を設けるために、動画（QRコード参照）を提示した後で発問するとよい。
- ・SNSでのプライバシー設定を分かりやすく説明するために、実際の操作画面を示すとよい。

- ② 課題①に取り組み、SNS上で共有できる情報について、どの範囲まで公開（共有）したいか考える。

指導上のポイント

- ・公開の有無によるメリットやリスクを自分の今の立場に立って考えることを確認するとよい。

- ③ 課題①について班別協議をする。

指導上のポイント

- ・個人情報の扱い方に対して考え方が違うことを学ぶ機会であることを確認するとよい。
- ・発表する際、理由も併せて発表するよう伝える。

- ④ 班別協議で協議した内容を、班ごとに発表する。

指導上のポイント

- ・各班の考えを比較するために、表など（QRコード参照）を準備する。
- ・理解を促すために、他の班の発表で気になった意見をメモすることを伝えるとよい。

個人情報の保護と利用

年 組 番 名前

言葉の確認

- (プライバシー) : 他人から干渉や侵害を受けない権利。又は、同意なしで自分に関する情報の収集利用・提供されないようにするための権利。
- 個人情報保護法で定められている個人情報
 - ・基本4情報 : (氏名) ・ (住所) ・ (生年月日) ・ (性別)
 - ・ (個人識別符号) : マイナンバー・指紋等の生体認識データ など
 - ・ (要配慮個人情報) : 信条・社会的身分・犯罪歴 など

課題①

下に SNS 上で共有できる情報の一例を示す。あなたが今の立場だったら、どの情報を学校の友人、学校以外の友人、全世界の人々うち、どの範囲まで公開 (共有) したいか。その理由も併せて答えなさい。

- ① 自分の名前
- ② 自分の誕生日
- ③ 自分のスマホ番号
- ④ 学校名と学年
- ⑤ 自分の趣味
- ⑥ 自分の友達リスト (フォロワーリスト)
- ⑦ (観光地等で) 自分だけが写っている画像と「いい景色だった」という添えられたコメント
- ⑧ (観光地等で) 自分だけが写っている画像と「いい夏休みを」という添えられたコメント
- ⑨ (観光地等で) 自分と自分の友人が写っている画像
- ⑩ 「いいね」やシェア (リツイート) した投稿

自分の SNS の設定を見直してみよう。

多くの生徒は、高校生という立場上、SNS 上に無条件で個人情報を公開することに対してリスクがあると考えたろう (但し、「お店の住所を公開する」など、目的や立場によっては逆に公開することでメリットが生じることもあるため、併せて伝えるとよい)。そのため、①~④に関しては「学校の友人まで」と答える生徒が多いと予想できる。逆に、⑤~⑩に関しては、リスクの許容度や経験によって、SNS への投稿による自分の将来等に対する影響 (デジタル・フットプリントの影響) に対する判断が分かると考えられる。